

2026年4月28日  
出光興産株式会社

## 使用済みプラスチックの再資源化に貢献する 油化ケミカルリサイクル設備の商業運転を開始

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明、以下「当社」）の子会社であるケミカルリサイクル・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：岡村仁彦、以下「CRJ」）は、当社千葉事業所に隣接する市原事業所（所在地：千葉県市原市）で、油化ケミカルリサイクル※<sup>1</sup>設備（使用済みプラスチック処理能力：2万トン/年）の商業運転を4月27日に開始しました。また同日、同事業所にて竣工式を執行了いました。

※<sup>1</sup> 油化ケミカルリサイクル：使用済みプラスチックを油化して生産したCR油を原料に「ケミカルリサイクル化学品」などを製造する再資源化の手法。



社長 酒井による起動式の様子



CRJ 社長 岡村による挨拶の様子

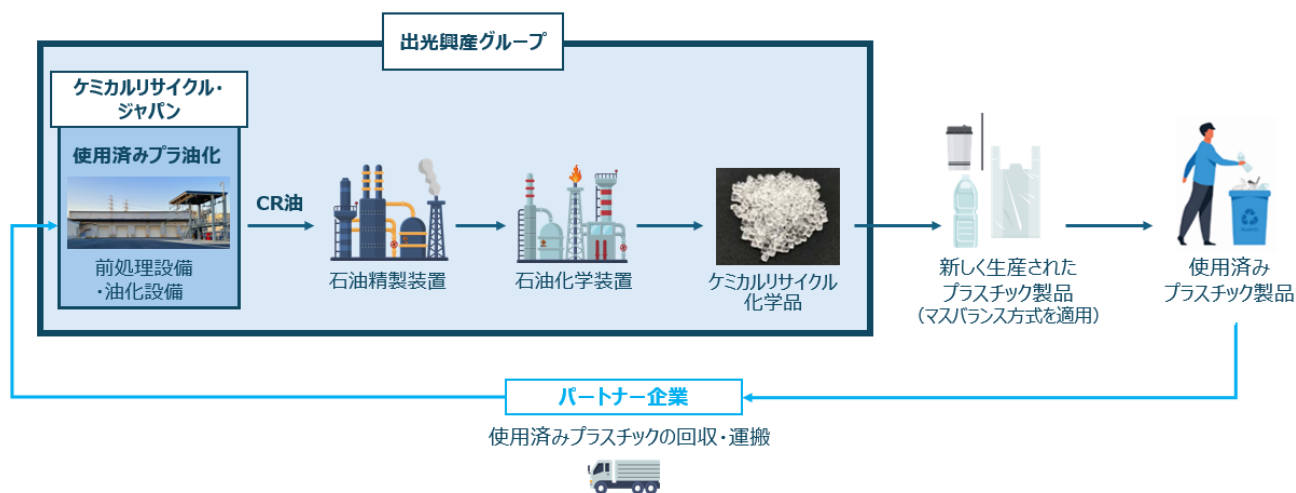


竣工式の様子

本設備は、家庭や企業などから排出される使用済みプラスチックを原料に、独自の油化ケミカルリサイクル技術を用いて、軽質原油に相当する CR 油<sup>※2</sup>を生産するものです。当社では、触媒を用いた接触分解システム<sup>※3</sup>を採用しています。

生産された CR 油は、当社グループの製油所・事業所の石油精製装置および石油化学装置を経て、マスバランス方式<sup>※4</sup>を適用した「ケミカルリサイクル化学品」などに再資源化されます。これにより、従来は焼却や埋め立てられることの多かった使用済みプラスチックを、資源として循環利用することが可能となります。

なお、CRJ の市原事業所は、2026 年 3 月に「ISCC PLUS 認証(International Sustainability and Carbon Certification PLUS)」および千葉県より「産業廃棄物処分業許可」を取得しています。



本事業のイメージ図

当社および CRJ は、本事業を通じて使用済みプラスチックの再資源化を推進し、資源循環型社会の実現に貢献します。

※2 CR 油：ケミカルリサイクル油。使用済みプラスチックを油化して生産した軽質原油相当の油。

※3 触媒を用いた接触分解システム：触媒を用いてプラスチックを分解する化学反応プロセスのこと。

※4 マスバランス方式：原材料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：使用済みプラスチック由来の原料）がそうでない原料（例：石油由来の原料）と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法。

#### 【参考】

ビジネス映像メディア「PIVOT」(YouTube)：[資源に乏しい日本の知られざる「都市油田」- プラごみを『石油』に変える理由](#)

当社の油化ケミカルリサイクル事業について、執行役員と担当者がゲストと共に語ります。

プレスリリース：[プラスチックの資源循環実現に貢献する油化ケミカルリサイクル設備が完工（2026年1月19日）](#)

プレスリリース：[5社共同で、使用済みプラスチックを用いた再生プラスチックの製造・建設資材への活用に成功（2026年4月10日）](#)

プレスリリース：[音楽フェス『CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2026』で回収したプラカップを油化ケミカルリサイクルする実証実験に参加（2026年4月24日）](#)

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

[https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease\\_flow/index.html](https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html)